

Protection Technology
700x23C (23-622)
Made in Japan

Race A EVO 2

5100円

How To Choose the Clincher Tire

2013年度版 いま履くべき
クリンチャータイヤセレクション

一般ユーザーにとって、クリンチャータイヤがロード用タイヤの主流となって久しい昨今。
レース派から絶大な支持を集めチューブラーとも“もうほとんど差がない”とまで言われるようになった。
そんな2013年の“クリンチャータイヤ事情”とともに、自分に合ったモデルの選びかたを解説しよう！

PHOTO:Kenji TAKADA, Shingo NITTA TEXT:Masanori ASANO, BiCYCLE CLUB

じゃあ私はいったいどのタイヤを選べばいいの?

どんな走りをするかで選んでみよう!

・ヒルクライムでラクしたいなら> 200g以下の軽量モデル

200gを切るタイヤは軽量と言っていい。もちろんチューブの重さもバカにならないので気にしたい。
軽量ということは、そのぶん他の性能を犠牲にしているところがあるため、やや用途が限られる

・通勤・通学がメインなら> やや重くても耐パンク性を重視

パンクして会社や学校に遅刻したら大変! ということでもっと必要なのは耐パンク性能。軽量性は損なわれるケースが多いが、肉厚なトレッドや硬いケーシングをもつタイヤが求められる

・ロングライドで疲れたくない> 乗り心地がソフトな25C以上

身体にかかる負担を軽減したいなら、路面からの衝撃を吸収する柔らかめのタイヤがオススメ。また太いほうが乗り味はマイルドになる。空気圧は適正の範囲内でやや低めにするのも良い

・レースで結果を追求するなら> 反応がダイレクトなハードタイプ

タイヤの性能差で結果が大きく左右するのはヒルクライムやタイムトライアル。転がり抵抗が低く、ロスのないハードなものが好まれる。ただクッション性はやや損なわれるデメリットもある

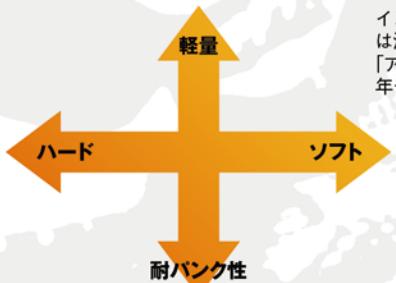
インプレッションチャートの見方

横軸は乗り心地がソフトかハードか

インプレッションは各ブランドの代表的なモデル1本についてを行い、そのモデルのフィーリングを浅野氏に解説してもらった。またチャートの配置はインプレッションの結果によるものではなく、メーカーの意向によるもの。縦軸は主に重量と耐パンク性能、横軸は乗り心地の方向性を示す。ただし一部のブランドは要素が異なることに注意。

インプレッションライダー
浅野真則さん

三重県在住の実業団E1クラスで走るフリーランスライター。それぞのインプレッションは徹底的に走りこみ、できるだけ同じ状況下で行った



インプレッションバイク
は浅野氏私物のスコット「アディクトR1」(2009年モデル)



チューブはお気に入りの
エクステンザ／超軽量チューブ
ホイールはマヴィックの
キシリウムK10を使用



ヴィットリア以外は
空気圧を7.5気圧に統一



「コレを使っている理由は、市販されているチューブのなかではかなり軽いから。あと、バルブの長さも48mmと60mmとランナップされているので、ディープリムホイールでも使えるのも魅力」

「ザ・アルミリムホイール」という感じで、まあまあ軽いといえ縦方向横方向とも剛性が高く、かなりカッちりした乗り心地です。シマノの7900シリーズなどと比べると対照的な乗り味ですね」

ついに完成されたクリンチャータイヤ! いまの流行は「しなやかな太めサイズ」

元祖ロードバイクタイヤと言えばチューブラー。

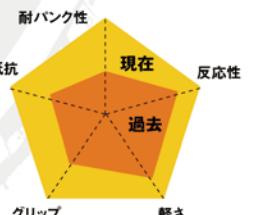
だが時はたち、クリンチャーは技術開発により完全に主流となった。

なかでも昨今は“しなやかな乗り味で、25C以上のやや太め”が流行中。そのワケとは……。

M
T
B
の
サ
ス
の
よ
う

「2013年のクリンチャータイヤといえばチューブラー。それを語る上で“しなやかな乗り味”はキーワードになると思います。硬（乗り心地がハードな）だけのタイヤや、柔らかい（乗り心地がソフトな）だけのタイヤを作るのであれば、それが相反する性能を追求しています。“しなやか”とは、安価なTBのサスのようなものです」。そう教えてくれたのは東京都足立区のタイヤ専門店「marco」（マルコ）村上店長。近年ロングライドやツーリングを楽しむサイクリストが増えているのも、しなやかなタイヤが好みされる理由のひとつだという。また、ツール・ド・フランスなど海外のレースを撮影するフリーライダーは、タイヤの辻啓二によると、「25Cなど細いタイヤ」という常識が変わってきた。25Cなど太めのタイヤを履いているのをよく見かけます。太いタイヤを使うのは、手はもちろん、チームメカニックの手だわりでもあるようです。ちなみに先日閉幕した「ツアー・ダウンタウン」ではチューブラータイヤばかりでしたが、他のレース、とにかく太いタイヤを見かけます。「25Cなど太めクリンチャーダーベリュームを見かけます」と語りました。『しなやかな太めクリンチャーダーベリューム』が流行の最先端か!?

流行その1 すべての性能バランスがアップ



レース派に好まれるチューブラーと比べると、あらゆる面で見劣りしていたというクリンチャーダーベリュームですが、今は性能が飛躍的に向上したという。「ウチのお客さんも6割はクリンチャーダーベリュームで、チューブラーは残り4割。やはりコストパフォーマンスはバツグンが高い」と村上店長

流行その3 25Cなど太めサイズの増加



海外のプロツアーレベルですら使用率が高まっているという、「25C以上」というタイヤの太さ。空気量が多いことでクッション性が高まり、疲れにくくなる。これは重量という唯一のデメリットを無視できるほど。メーカーもライナップを増やしているようだ

流行その2 トップモデルも5000円台へ!

例えばIRC/
フォーミュラプロ/
RBCCなら

7,350円

5,670円

「今は5,000円台が大きな分かれ目になっています。それ以上だと超ハイエンド、5,000円周辺は上級モデル、それ以下はミドルグレードです。最近はどこのメーカーも値下げしてきましたから」と店長。消耗品もあるのでバカにならない。ユーザーとしては嬉しい限りだ

流行その4 全般的にしなやかさを重視



しなやかとは、乗り心地がソフトで振動吸収性の高いタイヤのフィーリングを指すと言う。「単に柔らかいだけというのではなく、適度に路面の状況も伝えてくれて、なおかつ加速したとき反応もよくて、転がりが軽く感じるタイヤがベストですね」と村上店長

2012年度 marco売れ筋モデル!

<クリンチャータイヤBEST5>

- 1位: パナレーサー/レースDエボ2
- 2位: チャレンジ/ストラーダ
- 3位: コンチネンタル/グランプリ4000S
- 4位: ミシュラン/PRO4シリーズ
- 5位: パナレーサー/カテゴリS2

<チューブBEST3>

- 1位: シュワルベ/チューブ仮式軽量タイプ
- 2位: パナレーサー/R-AIR
- 3位: ミシュラン/エアコンプウルトラライトチューブ

Info

東京唯一(?)のタイヤ専門店 足周りのことならおまかせ!

タイヤ専門店だがホイールやアクセサリーも揃い、取り扱うモデルは多い。「ホイールの振れ取りなどメンテナンスも行っています。荒川のすぐ近くなので、サイクリングがてらにぜひ立ち寄ってください」とは店長の村上さん



村上靖店長



marco自転車タイヤショップ

〒123-0864
東京都足立区荒川1-13-12-103
TEL.03-5809-5590
http://marcocyclertire.donburako.com/
営/11:00~20:00 休/毎週火曜、第1・3水曜



TPOに合わせて選べる 個性豊かなタイヤを

屋内での使用に特化した
ローラー台専用タイヤ
HOMETRAINER

ホームトレーナー
価格:4,095円

spec
●サイズ: WO 26×1.75、700×23C
●カラー: ブラック
●TPI: 84TPI ●重量: 700g (26×1.75)、280g (23C)

固定ローラー使用中の音を低減させるために専用のコンパウンドを採用した、ローラー台専用タイヤ。屋内での使用に特化しているため、屋外の実走は不可。このタイヤを装着した後輪を用意して、ローラー台専用ホイールを作るのがおすすめだ

耐パンク素材を省いて軽量化
コンチネンタル最軽量モデル
② GRAND PRIX SUPERSONIC

グランプリスーパーソニック
価格:5,775円

●サイズ: WO 700×20C、23C
●カラー: ブラック
●TPI: 330TPI ●重量: 140g (20C)、145g (23C)

CONTINENTALモデル評価
低転がり性 ドライ ウェット 浮き砂 クッション性 トレッド 寿命 耐パンク性
8/10 8/10 8/10 2/10 8/10 4/10 2/10

spec
●サイズ: WO 700×20C、23C
●カラー: ブラック
●TPI: 330TPI ●重量: 140g (20C)、145g (23C)

前後で異なる形状を持つ
レーシングタイヤ
⑤ GRAND PRIX ATTACK & FORCE

グランプリアタック&フォース
価格:5,775円 (セットは10,500円)

●サイズ: WO 700×22C (アタック)、24C (フォース)
●カラー: ブラック
●TPI: 330TPI ●重量: 190g (アタック)、210g (フォース)

CONTINENTALモデル評価
低転がり性 ドライ ウェット 浮き砂 グリップ力
8/10 10/10 8/10 6/10
クッション性 トレッド 寿命 耐パンク性
8/10 6/10 6/10

spec
●サイズ: WO 700×22C (アタック)、24C (フォース)
●カラー: ブラック
●TPI: 330TPI ●重量: 190g (アタック)、210g (フォース)

グランプリ4000を軽量化
死角の少ない超高性能モデル
④ GRAND PRIX 4000S

グランプリ4000S
価格:5,565円

spec
●サイズ: WO 700×23C、25C
●カラー: ブラック
●TPI: 330TPI ●重量: 205g (23C)、230g (25C)

レーシングタイヤの定番・グランプリ4000の優れた性能はそのままに、ブラックチリコンパウンドを配合。どんなコンディションのレースでも安心して使える

CONTINENTALモデル評価
低転がり性 ドライ ウェット 浮き砂 クッション性 トレッド 寿命 耐パンク性
10/10 8/10 8/10 4/10 10/10 10/10 8/10

spec
●サイズ: WO 20×1-1/8、700×23C、25C
●カラー: ブラック
●TPI: 180TPI ●重量: 205g (20×1-1/8)、220g (23C)、250g (25C) ●ボリュームブレーカー

レーシングタイヤに必要なあらゆる性能を高い次元で兼ね備えたオールラウンダー。グリップと転がり抵抗の低さを両立するブラックチリコンパウンド採用

CONTINENTALモデル評価
低転がり性 クッション性 トレッド 寿命 耐パンク性
10/10 8/10 10/10 6/10

強さと耐久性の秘密は
ベクトラン+ケブラーネット
⑥ GRAND PRIX 4-SEASON

グランプリ4シーズン
価格:5,775円

●サイズ: WO 700×23C、25C、28C
●カラー: ブラック
●TPI: 330TPI ●重量: 230g (23C)、240g (25C)、260g (28C)

耐パンク性能を高めるダブルベクトランに加え、タイヤを外的要因から守るケブラーネットをケーシングの外層部に装備。わずかな重量増で驚きの耐久性を獲得した

CONTINENTALモデル評価
低転がり性 ドライ ウェット
8/10 8/10 8/10
浮き砂 クッション性 トレッド 寿命 耐パンク性
8/10 8/10 8/10 10/10



1世紀以上の歴史を誇る自転車用タイヤの老舗

CONTINENTAL

【コンチネンタル】

問合せ:ミズタニ自転車
TEL.03-3840-2151 http://www.mizutanibike.co.jp/

耐パンク性能も兼ね備えた
超軽量決戦用タイヤ
① GRAND PRIX TT

グランプリTT
価格:6,510円

IMPRESSION



spec
●サイズ: WO 700×23C
●カラー: ブラック
●TPI: 330TPI
●重量: 180g

CONTINENTALモデル評価
低転がり性 ドライ ウェット 浮き砂 クッション性 トレッド 耐パンク性
10/10 8/10 8/10 4/10 10/10 4/10 6/10



ASANO'S IMPRESSION

「扱いやすさと総合力が光る
決戦用タイヤ」

GRAND PRIX TT

特に加速時や上りでの走りの軽さは特筆もので、車輪の外周部が明らかに軽くなったとわかる。グリップ力もレーシングタイヤとして求められる高いレベルにある。これならヒルクライムやタイムトライアルだけでなく、ロードレースの決戦用タイヤとしても使えるだろう。

同社の強みは、OEMに頼らない総合タイヤメーカーならではの最新技術で確かな技術力により、自転車界でもタイヤのメジャーブランドとして君臨している。ドーマンシップをもつ経験豊かなスタッフが多数在籍すること。このメリヤーに求められる性能をバランスよく兼ね備えたグランプリをベースに、軽量化を施した4000S、トレックをさらに薄くしてさらなる軽量化を図ったTT、耐パンクブレーカーを最大限に生かし、あらゆる走行シーンに最適な高品質なタイヤをラインナップしている。コンチネンタルのロード用クリンチャータイヤの中核をなす商品は、グランプリシリーズ。レーシングタイヤに求められる性能をバランスよく兼ね備えたグランプリをベースに、軽量化を施した4000S、トレックをさらに薄くしてさらなる軽量化を図ったTT、耐パンクブレーカーを最大限に生かし、あらゆる走行シーンに最適な高品質なタイヤをラインナップしている。コンチネンタルのロード用クリンチャータイヤの中核をなす商品は、グランプリシリーズ。レーシングタイヤに求められる性能をバランスよく兼ね備えたグランプリをベースに、軽量化を施した4000S、トレックをさらに薄くしてさらなる軽量化を図ったTT、耐パンクブレーカーを最大限に生かし、あらゆる走行シーンに最適な高品質なタイヤを

ドイツに本社を置くコンチネンタル社は、創業1世紀以上の歴史を誇る世界屈指の総合タイヤメーカー。自転車用タイヤの生産の歴史も110年以上に及び、その長い歴史に裏付けられた確かな技術力により、自転車界でもタイヤのメジャーブランドとして君臨している。ドーマンシップをもつ経験豊かなスタッフが多数在籍すること。このメリヤーに求められる性能をバランスよく兼ね備えたグランプリをベースに、軽量化を施した4000S、トレックをさらに薄くしてさらなる軽量化を図ったTT、耐パンクブレーカーを最大限に生かし、あらゆる走行シーンに最適な高品質なタイヤを

ジャーマンシップが光る

レース用クリンチャータイヤのフロンティア

MICHELIN

ミシュラン

問合せ:
日直商会 TEL.048-953-9771 <http://www.nichinao.co.jp/>
深谷産業 TEL.052-909-6201 <http://www.fukaya-sangyo.co.jp/>

しのぐ軽さと
高さを実現

プロ4SCをしのぐ軽さと 回転性能の高さを実現

② PRO4 Comp Service Course

プロ4コンプサービスコース
価格:5,985円

新開発の150TPIケーシングの採用で、従来品に比べてケーシングを30%軽量化、回転時の変形量も大幅に低減したハイパフォーマンスタイ。プロ4SCより10%軽くなり、伝達効率も7%アップした

1

**重量・走りともに圧巻の軽さ
最高のレーシングタイヤ**

① PRO4 Comp Limited Service Course

プロ4コンプリミテッドサービスコース
価格:5,985円

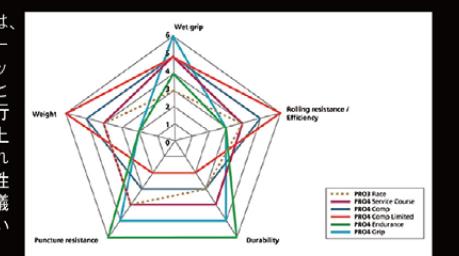
シリーズ中最軽量の165gという圧倒的な軽さに加え、ミシュラン調べでプロ4SCより1分あたり4m速く走れるという走りの軽さも備えた究極のレーシングタイヤ。ねらったレースの決戦用に使いたい

spec

●サイズ: WO 700×23C ●カラ
ー: ブラック ●重量: 165g

進化と PGC1α と PGC1-α の比較

プロ4シリーズは、前作プロ3シリーズと比べ、グリップや転がり抵抗といった基本的走行性能で圧倒的に上回っている。それでいて耐パンク性能や耐摩耗性は犠牲になっていないこともわかる



ASANO'S IMPRESSION

「プロ4シリーズの中で
最も実戦向けの能力バランス」

PRO4 Comp Service Course

プロ4シリーズは、前作から全体的に性能の底上げが図られた。ベーシックモデルのプロ4SCも十分高性能だが、プロ4コンプSCは、耐摩耗性や耐パンク性能をそれほど犠牲にすることなく、さらに軽量化して転がり抵抗も低減。シリーズ中実戦向けのモデルだと思う。他ブランドの23Cタイヤより見た目が明らかに細く、タイヤの扁平率が高いため、コーナーでよれすぎないのが◎。グリップ力も高く、あらゆる場面で走りの軽さを体感できる。

自動車タイヤはもちろん、F1マシンやGPレースのタイヤなど、あらゆるタイヤを作る、世界屈指の総合タイヤメーカー・ミシュラン。自転車用タイヤをルーツとし、120年以上にわたる長い歴史を誇るフランスのブランドだ。

チューブラータイヤが圧倒的なシェアを誇っていた1980年代半ばには、ロード用クリンチャータイヤを発表。圧倒的な利便性とチューブラータイヤに劣らない性能を両立した高性能クリンチャータイヤは、ペルラン・フィニヨンによるジロ・デ・イタリア制覇やジヤンニ・ブーニヨの世界選手権2連覇をアシスト。瞬く間にシェアを広げた。ロードレースの世界でクリンチャータイヤをここまで普及させたのは、ミシュラン

同社のクリンチャータイヤの系譜は、エポックメイキングなハイライドシリーズに始まり、ファニヨンやブニヨの活躍を支えたスーパーコンプシリーズなどを経て、現在のプロレースシリーズに至る。プロレースシリーズの最新モデル・プロ4レースは、転がりの軽さやグリップ力重量の軽さ、耐摩耗性など、あらゆる面において先代モデルを大きく上回る性能を獲得。ラインナップもサービスコース（SC）を中心に、軽量化を図ったコンプSC、究極の軽さを誇るコンプリミテッドSC、ウエットグリップを強化したグリップ耐久性を強化したエンデュランスとスキがない。用途別に特化された高性能タイヤをラインナップできるのは、レース用クリンチャータイヤのフロンティア・ミシユランならではだ。

標準モデルも 抜群の総合力





ASANO'S IMPRESSION

「路面への食い付きが抜群!
濡れた路面でも安心して走れる」

RACE A(all around) Evo2

レーシング系のオールラウンドモデルという位置づけどおり、総合力が高い。トレッドのセンターがとがったパナレーサー独特の断面形状は、転がり抵抗を減らしたい直進時には接地面積を減らし、グリップ力が求められるコーナーではハイ

クを倒したときに接地面積が増えるように考慮されている。そのため、グリップ力の高さは特筆もので、路面への食い付きが抜群よい。ドライコンディションはもちろん、濡れた路面でも安心して攻められる。ロードレースには最適だろう。

RACE A (all around) Evo2 TUBULAR

価格:9,890円

spec

- サイズ: TU 700×23 mm
- カラー: ブラック
- 重量: 280g
- 推奨内圧 (kPa): 700-900
- ケーシング: ナイロン
- パターン: マイクロファイル
- チューブ: R-AIR

レースAエボ2のチューブラーモデル。優れたグリップ力を生むZSGデュアルコンパウンドや、耐パンク性能の高いPTベルトを採用

いくつもの「初」を実現したニッポンのフロンティア

パナレーサーは1952年に松下電器グループとして創業したパナソニック・ポリテクノロジーのスポーツサイクル用タイヤのブランド。グループ創業者・松下幸之助氏がかつて社会人としての第一歩を印した自転車競業界で、常に新しい技術的な挑戦を続け、世界初の製品や製法を目指してきた。今では当たり前になつた世界初のナイロンコード製競技用チューブラータイヤを開発したのも、自転車初のラジアルタイヤを開発したのも同社だ。自転車競技の世界でもいくつもの日本初や世界初の偉業を達成している。例えば、世界選手権10連覇を達成した中野浩一選手の偉業にもパナ

レーザーのチューブラータイヤが貢献している。また、99年にブエルタ・ア・エスパニャでステージ優勝、2001年にはジロ・デ・イタリアでステージ優勝を2度獲得し、04年にはジロの個人総合2位獲得で表彰台に立ち、05年にはツール・ド・フランスに参戦したが、これらはいずれも国産初の偉業だ。

そんなパナレーサーの最新モデルは、レースエボ2シリーズ。オールラウンドモデルのレースA、耐久性に優れたレースD、抜群の軽さを誇るレースLの3モデルからなり、いずれも国内外のトップ選手・チームからのフィードバックを生かして作られたものだ。これらのモデルを使い選手たちが、これらも数々の感動を自転車ファンにもたらしてくれただろう。

乗り心地ハード

あらゆるパンク要因に勝つ!
耐パンク性能強化モデル

④ RACE D (duro) Evo2

レースDエボ2

価格:5,800円

レースエボ2シリーズの耐パンク性能強化タイプ。耐カット性能にも優れる3DケーシングにPTベルトを使用し、貫通・リム打ち・サイドカットなどあらゆるパンク要因に威力を發揮。トレッドの耐久性と耐摩耗性もアップした

PANARACERモデル評価

転がり 抵抗	グリップ力	耐リム打 ち パンク性能	耐貫通 パンク性能	乗り心地
6 / 10	10 / 10	10 / 10	10 / 10	6 / 10

spec

- サイズ: WO 700×23C, 25C
- サイドカラー: ブラック、ブルー、レッド
- 重量: 210g (23C), 240g (25C)
- ビード: アラミドビード
- テクノロジー: NEW Z SG デュアルコンパウンド、PT (protection technology) シールド、AX-a コード、オールコンタクトトレッドシェイプ

世界も認めた日本製の自転車タイヤ

PANARACER

【パナレーサー】

問合わせ:パナソニックポリテクノロジー
TEL.0570-005381 <http://panasonic.co.jp/ppt/>

貫通パンク対策も万全!
安心して使える軽量タイヤ

① RACE L (light) Evo2

レースLエボ2

価格:5,100円

spec

- サイズ: WO 700×20C, 23C
- カラー: ブラック
- 重量: 175g (20C), 180g (23C)
- ビード: アラミドビード
- テクノロジー: NEW Z SG デュアルコンパウンド、PT (protection technology) ベルト、AX-a コード、オールコンタクトトレッドシェイプ



わかりやすいラインナップ
タイプ分けが明確で



名作・アルトレモを核に
隙のないラインナップ

1世紀以上にわたり、ドイツで自転車用タイヤの製造を手がけてきたシュワルベ。これまでにツーリング系タイヤとして世界一の販売量を誇る「マラソン」やMTB用の最軽量タイヤ「フューリアスフレッド」、革新的なテクノロジーで軽量オールラウンドタイヤのベンチマーク「アルトレモ」など、あらゆるカテゴリーの名作といわれるタイヤを発表。多くの熱狂的なファンをもつブランドだ。

ロード用レーシングタイヤの主力モデルは、アルトレモシリーズ。200gを切る軽さが生む走りの軽さと優れたグリップ力、耐パンク性能の高さなど、総合力の高い軽量タイヤとして、登場以来多くの支持を集めた。現行にして最新モデルのZXは、アルトレモシリーズの持ち味である軽量系オールラウンドタイヤキャラクターを継承し、さらに軽くなり抵抗を低く、パンクに強いタイヤになつた。カラーバリエーションの多さや、クールなロゴなど、ルックスもよく、自転車とのコーディネートを楽しめるのも魅力だ。

このZXをベースにした派生モデルとして、軽さに磨きをかけたZLX、X、耐パンク性能を強化したDD、ウェットグリップを強化したAqua、エントリーモデル・ルガノなど、あらゆるレベルのサイクリストのニーズに応えるラインナップを開している。



ウェット路面に適したモデル **ULTREMO AQUA**

アルトレモアクア
価格:6,615円

spec

- サイズ: WO 700×23C
- カラー: ブラック
- 仕様: ケブラービード
- 重量: 195g

アルトレモZXのもつ優れたグリップ力をさらに強化。ウェットコンディションでも最高のグリップを発揮するモデル



様々な用途に対応する 守備範囲の広がる特徴 **DURANO S**

デュラノS

価格:4,515円

spec

- サイズ: WO 700×23C
- カラー: ブラック (700×23Cのみ他ブルーストライプ、オレンジストライプ、レッドストライプ、シルバーストライプ、ホワイトストライプ、イエローストライプ、グリーンストライプ、ピンクストライプ、ホワイトあり)
- 仕様: ケブラービード
- 重量: 225g (23C)

高い走破性と耐久性を併せ持つレーシングカテゴリーのミドルグレード。練習からロングライド、街乗りまで、幅広い用途をカバーする使いやすさも特徴



幅広いニーズに応える
"ドレーニングから決戦まで"



カラバリの多さも魅力の エントリーモデル **LUGANO**

ルガノ

価格:3,150円
(ワイヤービードモデルはオープン)

spec

- サイズ: WO 700×23C, 25C
- カラー: ブラック (23Cは他ブルーストライプ、レッドストライプ、イエローストライプ、ホワイトストライプあり)。ワイヤービードモデルはさらにベージュあり)
- 仕様: ケ布拉ービード (23C, 25C)、ワイヤービード (23C)
- 重量: 255g (23Cケブラー)、280g (25Cケブラー)、325g (23Cワイヤー)



サイズ展開が豊富な ミドルグレードモデル **DURANO**

デュラノ

価格:4,515円(23C)、
4,725円(25C)、
3,675円(32C)

spec

- サイズ: WO 700×23C, 25C, 32C
- カラー: ブラック (23Cのみ他クリームあり)
- 仕様: ケ布拉ービード (32Cはワイヤービード)
- 重量: 235g (23C)、255g (25C)、295g (32C)

デュラノSのスペックを継承しつつ、よりシティライドに適したトレッドパターンを採用。豊富なサイズバリエーションをもち、32Cもラインナップ



スマートガードがもたらす 最高レベルの耐パンク性能 **DURANO PLUS**

デュラノプラス

価格:5,880円

spec

最高レベルの耐パンク性能を誇るスマートガードを採用し、シュワルベで最もタフなタイヤのひとつ。シニアコンディションでの使用におすすめ

- サイズ: WO 700×23C, 25C
- カラー: ブラック
- 仕様: ケ布拉ービード
- 重量: 340g (23C)、380g (25C)

名作・アルトレモを核に
隙のないラインナップ

1世紀以上にわたり、ドイツで自転車用タイヤの製造を手がけてきたシュワルベ。これまでにツーリング系タイヤとして世界一の販売量を誇る「マラソン」やMTB用の最軽量タイヤ「フューリアスフレッド」、革新的なテクノロジーで軽量オールラウンドタイヤのベンチマーク「アルトレモ」など、あらゆるカテゴリーの名作といわれるタイヤを発表。多くの熱狂的なファンをもつブランドだ。

IMPRESSION

さらに総合力を増した
軽量系万能タイヤの定番
ULTREMO ZX

アルトレモZX
価格:6,090円

spec

- サイズ: WO 700×23C, 25C
- カラー: ブラック (700×23Cのみ他ブルーストライプ、オレンジストライプ、レッドストライプ、シルバーストライプ、ホワイトストライプ、イエローストライプ、グリーンストライプ、ピンクストライプ、ホワイトあり)
- 仕様: ケ布拉ービード
- 重量: 195g (23C)、215g (25C)、230g (23Cホワイト)



シュワルベの技術の粋を結集した最高峰モデル。レーススター、コーンバウンドとVガードを採用し、推進力とグリップ力、耐久性を高いレベルで兼ね備える

ULTREMO ZLX

アルトレモZLX
価格:6,930円

spec

- サイズ: WO 700×23C
- カラー: ブラック
- 仕様: ケブラービード
- 重量: 160g

アルトレモZXの高い総合力はそのままに、極限まで軽量化。わずか160gという超軽量決戦用タイヤ。タイミングトライアルやヒルクラムで真価を發揮する



**「オールラウンド系軽量タイヤの
ベンチマーク的なモデル」**

ULTREMO ZX

かつては軽量タイヤといえば、グリップに不満があったり、耐パンク性能に不満が残ったりと、何かしら難点があるのが当たり前だった。しかし、アルトレモシリーズは、そんな不満を解消。最新モデル・アルトレモZXも、先代

モデルの良さを引き継いで正常進化している。重量も走りも軽く、グリップも高いうえ、耐パンク性能も犠牲になっていない。オールラウンド系軽量タイヤというカテゴリーでは未だベンチマーク的存在となる総合力の高さだ。



世界最高峰のレースで磨き抜かれた性能

1950年代にイタリアで創業したイタリアのタイヤメーカー・ヴィットリア。チューブラータイヤやコットンケーシングのタイヤなど、年間700万本以上をすべて自社工場で生産している。

最大の特徴はしなやかさ。それを生み出すのがタイヤの骨格・ケーシングだ。上位モデルに採用される最高級のコットンケーシングは320TPI、1インチ四方あたり320本もの糸が編み込まれた高密度なもの。ケーシングは細い糸を密に編み込むことでよりしなやかになり、タイヤのしなやかさを生む。これがコントラリーリング中の接地面積を広げてグリップを増し、路面からの衝撃を吸収して快適性を高めることにつながる。

新テクノロジーで性能をアップデートすることも怠らない。最新の上位モデルには、新開発のISOグリップコンパウンドを採用。路面を選ばないグリップ力と転がりの軽さを高い次元で融合した。

ラインナップも幅広く、ロードバイクのよき悪路を想定したモデルまで展開。自転車競技の本場・ヨーロッパで60年以上選手の要望に応えながら一線で戦ってきたことを物語る。これまでツール・ド・フランスをはじめとする3大ツールやクラシックレースなどで数々の勝利を収めてきたが、これこそヴィットリアが「ロードレース用タイヤの代名詞」と称されるゆえんだ。

ASANO'S IMPRESSION

「新開発コンパウンドを搭載しさらに走行性能が進化」**OPEN CORSA CX**

スリックパターンを採用したコルサCXの派生モデル

② OPEN CORSA SL

オープンコルサSL

価格:5,985円

オープンコルサCXのスピードレス向けモデル。滑らかな路面で力を発揮するよう、幅を狭くトレッドパターンをスリックへ変更

spec

- サイズ: WO 700×22C
- カラー: ブラック
- 重量: 195g (22C)
- ケーシング: Nylon Plus 320TPI ラジアル
- コンパウンド: ISOgrip
- パンクベルト: PRB2.0

ヴィットリアのタイヤは非常に密度の高いケーシングを採用していて、しなやかで振動吸収性に優れるのが特徴。一般的にはチューブラータイヤより乗り心地の面で劣るとされるクリンチャータイヤでも、まるでチューブラーのような乗り味が楽しめる。オープンコルサCXは「これぞヴィットリア!」というクセのないしなやかさが印象的。とはいえ、伝統に固執しているわけではなく、新開発のISOグリップコンパウンドを採用し、ドライ・ウェットとともにグリップ力が向上している。コーナーでの粘り腰にさらに磨きがかかるのは、そのたまものだろう。

**路面を選ばない
舗装路から石畳まで
ラインナップ**

乗り心地の良さを生む2種類のケーシング

自転車の本場で勝利を量産、信頼と定番のブランド

VITTORIA

【 ヴィットリア 】

問合せ: ヴィットリアジャパン
TEL.0748-37-5677 http://www.vittoriajapan.co.jp/

自転車では珍しい
ラジアルレーシングタイヤ

⑤ DIAMANTE PRO RADIALE

ディアマンテ プロ ラジアル

価格:5,040円

新開発ラジアルケーシングを採用したモデル。高い柔軟性によりグリップ力と快適性が向上。また、軽量化や空力性能もアップ

spec

- サイズ: WO 700×22C, 24C
- カラー: ブラック
- 重量: 195g (22C)
- ケーシング: Nylon Plus 220TPI ラジアル
- コンパウンド: ISOgrip
- パンクベルト: PRB2.0

IMPRESSION



ロード用タイヤの指標となる
ヴィットリアの代表作

① OPEN CORSA CX

オープンコルサCX

価格:5,985円

新開発ISOグリップコンパウンドを採用し、グリップ力が向上した代表作。振動吸収性に優れるケーシングを採用

spec

- サイズ: WO 700×21C, 23C, 25C, 650×21C (チャート表は23Cを基準に配置)
- カラー: ブラック/レッド、ブラック/イエロー、ブラック/ブルー、ブラック/ホワイト、ブラック
- 重量: 210g (23C)
- ケーシング: コアスパン 320TPI
- コンパウンド: ISOgrip
- パンクベルト: PRB2.0

乗り心地ソフト

クラシックでプロ選手が愛用
バヴェに負けない高性能タイヤ

④ OPEN PAVE CG

オープンパヴェCG

価格:6,563円

ケブラーを混ぜたパヴェ特別仕様のケーシングを採用し、強靭さとしなやかさを両立。滑りやすいパヴェでもしっかりグリップする

spec

- サイズ: WO 700×25C, 27C
- カラー: グリーン/ブラック
- 重量: 230g (27C)
- ケーシング: コアスパン K320TPI
- コンパウンド: ISOgrip
- パンクベルト: PRB2.0



タイムトライアルで効果を発揮するエアロタイヤ

BONTRAGER
R4 エアロ

価格:8,000円

タイヤとリムのつなぎ目をふさぐエアロウーリングにより、空力性能に優れるモデル

問:トレックジャパン
●サイズ:700×22C
●重量:170g
●カラー:ブラック

乗り心地に優れるオープンチューブラー

CHALLENGE
クリテリウム320
オープンチューブラー

価格:5,900円

チューブラーのような乗り味をもつクリンチャーモデル。320TPIと高密度のケーシングを使用

問:カワシマサイクルサプライ
●サイズ:700×23C
●重量:200g
●カラー:ブラック×スキン、オールブラック、ホワイト×ブラック

確かなグリップ力で耐パンク性にも優れる

DEDA TRE
RS デュアル
コンパウンド WOタイヤ

価格:3,700円

濡れた路面でもグリップ力を発揮。センタートレッドにロングライフコンパウンドを使用

問:カワシマサイクルサプライ
●サイズ:700×23C
●重量:209g
●カラー:ブラック×グレー

あらゆる状況でも使える軽量ハイグリップタイヤ

FREESTEIN
FORTEZZA TriComp Slick

価格:6,195円

トータルバランスに優れ、かつ180gと軽量なモデル。コンディションに左右されない

問:フタバ商店
●サイズ:700×23C
●重量:180g
●カラー:ブラック×ブラック、Dグレーブラック、Dグレーレッド、Dグレーホワイト

ジャイアントのバイクにはコレ軽量ながらオールコンディション向き

GIANT
P-SLR1 タイヤ

価格:3,990円

200gと程よい軽さをもつレース用タイヤ。同シリーズでホイールもラインナップする

問:ジャイアント
●サイズ:700×23C
●重量:200g
●カラー:ブラックグリップ力に定評のあるモデル
イタリアのバイクによく似合うGOMMITALIA
タルガ K

価格:9,450円

問:東京サンエス
●サイズ:700×22C
●重量:200g
●カラー:ブラック×スキン、ブラック×ブラック
伝統ある杉目のトレッドをもち、オールラウンドな性能を発揮。22Cとやや細め問:カワシマサイクルサプライ
●サイズ:700×23C
●重量:200g
●カラー:ブラック問:ジャイアント
●サイズ:700×23C
●重量:200g
●カラー:ブラック超軽量クリンチャータイヤ
なおかつ快適性ももち合せるHUTCHINSON
アトム X ライト

価格:7,350円

160gという超軽量タイヤでありながら、快適性にも優れるという高級モデル

問:ダイナソア
●サイズ:700×23C
●重量:160g
●カラー:ブラック

ヘビーユーザーにオススメの耐久性の高いモデル

KENDA
KONTENDER 700c 26"

価格:3,150円

シティライドや通勤に最適なモデル。耐パンク仕様と軽量仕様の2種類あり

問:ダイアテックプロダクト
●サイズ:700×23, 26C
●重量:235g(23C)
●カラー:ブラック

ブルべにもってこいなマッサの26Cモデル

MASSA
T2601
価格:5,250円問:マッサエンタープライズ
●サイズ:700×26C(23Cのモデル名は「T2301」)

●重量:270g ●カラー:ブラック



三船雅彦氏が開発に携わった、長距離ライドに最適なモデル。23Cバージョンもあり

マヴィックの前後輪専用タイヤ
あらゆる性能が凝縮されているMAVIC
イクシオン
プロ パワーリンク

価格:6,300円

前後輪専用タイヤ。後輪にこのモデルを装着することで効果を発揮

問:アメアスポーツジャパン
●サイズ:700×23, 25C
●重量:190g(23C)
●カラー:ブラック、ブラック×ホワイト

最高のグリップ力とダイレクトな乗り心地

MAXXIS
ラディエール22c

価格:7,980円

世界初のロードバイク用ラジアルテクノロジー採用タイヤ。そのグリップ力は特筆モノ

問:インターテック
●サイズ:700×22C
●重量:215g
●カラー:ブラック

乗り心地の良いトレーニング用モデル

ONZA
LAVIN
700X23C

価格:2,625円

問:アキコボレーション
●サイズ:700×23C
●重量:285g
●カラー:ブラック、グレー、レッド、イエロー

柔らかいサイドコンパウンドをもち、乗り心地やコーナリング性能に優れるタイヤ

フルスリックデザインのオールラウンドモデル

RITCHIEY
レース スリック WCS

価格:5,040円

120TPIでナイロングケーシング採用のトップモデル。パンク防止ベルトも内蔵される

問:東京サンエス
●サイズ:700×23C
●重量:230g
●カラー:ブラック軽量でしなやかな乗り味
寿命も長くて経済的SERFAS
ヘリックス

価格:7,350円

問:ライトウェイプロダクト
●サイズ:700×23C
●重量:210g
●カラー:ブラック、レッド、ブルー、ホワイト

トリプルコンパウンドを採用したハイグリップモデル。寿命も長く、耐パンク性能も◎

このタイヤでパンク知らず!
ツーリングにもってこいSOMA
ニューエクスプレス

価格:4,830円

耐パンク性能を向上させる、ハイパーテックスケーシングを採用した超寿命モデル

問:東京サンエス
●サイズ:700×23C
●重量:260g
●カラー:ブラック、ブルー、レッド、イエロー、ホワイト、ピンク

競輪界のタイヤブランドが作るしなやかなクリンチャータイヤ

SOYO
トゥルーアンス プラス

価格:6,615円

問:ダイワボウプログレス
●サイズ:700×23C
●重量:205g
●カラー:ブラック

ブランド初のクリンチャーモデル。軽量でしなやかな乗り味でチューブラーに匹敵する

プロライダーが熱望した軽量でしなやかなタイヤ

SPECIALIZED
Sワーフス ターボ

価格:6,615円

220TPIと高密度のケーシングで、「上りは楽に、下りは速い」を実現したモデル

問:スペシャライズドジャパン
●サイズ:700×21, 23, 24C
●重量:185g(23C)
●カラー:ブラック、ブラック×レッド、ブラック×ホワイト、ブラック×ブルー超寿命のオールラウンドタイヤ
杉目でグリップもバッチリTIOGA
トリムラインSF

価格:4,515円

ナシ地仕上げのハードラバーコンパウンドを使い、転がり抵抗を軽減。磨耗も遅い

問:マルイ
●サイズ:700×20, 23, 26C(26Cは4,725円)
●重量:195g(20C)
●カラー:ブラック

レースのために作られた超軽量ハイグリップモデル

TUFO
C-Elite JET < 150g

価格:9,450円

耐パンク層とシリカ+Si363トレッドコンパウンドの軽量モデル。TTやロードレース向き

クリンチャータイヤで140g!
ヒルクライムにはコレ!VELOFLEX
レコード

価格:6,800円

問:インターマックス
●サイズ:700×23C
●重量:140g
●カラー:ブラック
スキンサイド

140gという軽さゆえ、ヒルクライムやタイムトライアルに適したモデル

